



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

平成29年6月21日

まさに『最後まで 心を一つ に突き進め』

今月3日に行った浜の子運動会には、多数の皆様の御声援をいただきありがとうございました。前日の準備からとても強い風が吹き、テント設営も心配いたしました。白羽小をつくるすべての方々の熱い思いのおかげで、無事にやり終えることができました。

本年度のスローガンは、『最後まで 心を一つに 突き進め』に決まり、子どもたちは『気づき考え行動する』姿を目指して、浜の子運動会をみんなで作り上げようと、練習から全力で取り組んできました。本年度は、初めての試みである「たてわり種目（ボール送りリレー）」を行いました。この種目は子どもたちの学校づくりへの夢である「なかよくたのしい学校」実現のために、運営委員会や6年生を中心に、子どもたち自ら、考え話し合っって企画し、練習してきたものでした。

今年の浜の子運動会は、白組優勝！赤組準優勝！となりました。白組は6年2組山本駿馬さんを団長に、総練習の時から素早い行動力と団結力を見せて全力で取り組んでいました。応援の声も教頭曰く「3デシベルの差（ほんの少しの差）」で、白組優勢かに見えました。しかし、そこからの赤組の奮起がすばらしかった。行動がだんだん早くなり、団結を見せようと応援練習の声も日に日に大きくなりました。迎えた本番でも、すばらしい勝負が行われました。

閉会式で、準優勝の赤組団長齋藤成吾さんは、「全力を出し切ったので負けても悔いはありません」と振り返り、その清々しさに、会場にいたみんなが感動を得ました。

が、しかし、閉会式終了後にもすてきなドラマがあったのです。。

どちらの組の応援席でも、応援団が一人一人、みんなへの感謝を伝えていました。赤組の応援席では、応援団か話し終わった後、松下夢我さんが、「みんな、頑張ってくれた応援団にお礼を言おう」と立ち上がりました。子どもたちは全員立ち上がり、夢我さんの合図で「応援団のみんな、ありがとうございました。」とお礼を言いました。勝ち負けを超えたすばらしい学びがあったことを子どもたちの姿が教えてくれました

私たち教職員は、閉会式終了後の保護者の皆さんの姿にも感激しました。PTA役員さんだけでなく、たくさんの保護者の皆さんがテントや机、椅子等の用具の片付けを手伝ってくださいました。なんとすばらしいことでしょう。

子どもたちと教職員の頑張り、そして、保護者の皆様や地域の皆様の温かな支えがあって、浜の子運動会が実りあるものになりました。この姿こそ、みんなで作り上げる運動会であったと実感しています。子どもたちの「主体性を引き出す」大人として、これからも御支援と御協力をお願いいたします。

(校長 増田久美子)

『 浜の子運動会のかがやく姿 』

たくさんの「輝き」をありがとうございました。毎日、お昼の校内放送で落合教務主任が読んでいます。「今日、ぼくのお母さんのが読まれたよ」とうれしそうに話す子どもの姿が見られました。子どもたちの頑張りやよさを見つける大人の感性を磨く機会とらえて御協力いただいていることに感謝いたします。ありがとうございました。一部ではありますが、裏面に紹介させていただきます。

